

I 研究の内容

1 研究主題 「生きる力をはぐくむ評価のあり方」

2 主題設定の理由

変化の激しい実社会を主体的に力強く生きていく力を培うという観点から、近年子どもたちにもとめられる力が、『生きる力』（確かな学力，豊かな人間性，健康・体力）であり，新学習指導要領においても，「児童に生きる力をはぐくむことを目指し，創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で，基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力その他の能力をはぐくむとともに，主体的に学習に取り組む態度を養い，個性を生かす教育の充実に努めなければならない」と考えが示されている。各学校における児童・生徒や地域の実態に応じた教育課程の編成・実施とそれにとまなう指導方法の工夫が必要である。

また，「児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに，指導の過程や成果を評価し，指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすようにすること」と評価についての考えが示されているが，『生きる力』特に「確かな学力」の定着を考えると，私たち教師の指導を振り返り改善することと，適切な評価と支援により児童の学ぶ意欲を高めることは，極めて重要であると考えられる。日常行っている評価を見直し，児童の学び・変容を丁寧に見とり，具体的・積極的な評価を行うことで，次の学習活動への意欲を高め，確かな学力の定着を図りたいと考え，本テーマを設定した。

3 研究の具体的内容

(1) 教育評価の考え方，評価の方法・手段についての理論研究

ア 指導の振り返り・改善，学ぶ意欲を高める評価と支援

イ 形成的評価（プロセス評価），指導と評価の一体化

ウ ルーブリック，振り返り，ポートフォリオ

(2) 一枚ポートフォリオ（OPPA）について学習（山梨大学 堀先生）

ア 学習前の学習者と学習後の学習者

イ 学習履歴（指導と評価の一体化）

ウ 自己評価による変容の確認

エ メタ認知の育成

オ 教師の役割（学習と授業を評価）

(3) 一枚ポートフォリオを活用した授業研究

2 学年 国語 説明文 物語

II 成果と課題

1 成果について

- ・前半の評価についての理論研究では、部会員で資料を持ち寄り、評価の目的、種類や方法などを共通に認識することができた。
- ・様々な評価方法の長所・短所、活用法に気づくことができた。
- ・山梨大学の堀先生の指導で、一枚ポートフォリオのシートの作成や活用の仕方など具体的な研究になり、細かいところまで学習を深めることができた。
- ・授業に向けて、教材研究、授業案の作成、教材の作成など部員全員で共通に学び合い協力し合うことができた。
- ・2回の研究授業を同じ授業者、同じ教科で実施されたので、継続した研究となり、児童の成長の様子もわかった。
- ・国語における説明文・物語文と2回の授業研究を通して、1枚ポートフォリオを活用した評価の有効性を確認することができた。
- ・継続して、1枚ポートフォリオに取り組むことで、児童が書くことを嫌がらず授業のまとめをしっかりとできるようになることがわかった。
- ・児童の思考を形あるもので残しておくことで、評価に有効であり、支援にも生かすことができることが確認できた。
- ・1枚ポートフォリオを活用した評価が、児童の自己評価、教師による評価の両面から見て有効であることがわかった。
- ・県教研に参加し、より多くの評価方法に触れることができた。

2 課題について

- ・今年度は国語において1枚ポートフォリオを活用した評価について学習し授業研究を行ったが、他教科、他領域での活用や他の評価方法についても学習していくことが課題となる。
- ・本部会は、昨年度休会していた。中に入り研究するとその意義も理解できるが、継続させることの難しさを感じる。
- ・少人数で和やかに研究が進められ、授業研究については2回の授業を同一授業者が快く行ってくれたが、一人に負担をかけてしまったことが反省として残る。

III 成果物

- 2 学年 国語 授業案, 1枚ポートフォリオ
「サンゴの海の生きものたち」(説明文)
「スーホの白い馬」(物語)
授業者 古屋 岳治教諭(松里小)

(部長 清水 利子)